

善通寺 高齢者と障がい(児)者等が

行方不明になったときのためのSOSネットワーク設立趣意書

拝啓

時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃は、地域福祉事業にご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当市内では超高齢社会の到来とともに、生活習慣の変化や核家族化の進行、少子化等に起因した新しい課題が出現しています。

特に認知症の方が年々増加し、現在は、八十五歳以上の四人に一人が認知症であるという報告もあります。そのなかで認知症の症状のひとつである失見当識(今いる場所や時間、まわりのことがわからない状態)で、行方不明になる高齢者の方も増加しています。

また、核家族化の進行に伴い、障がい(児)者の介護・養護する者の高齢化等が現代社会の大きな問題です。

これらの理由から家族の自助努力には限界があり、家族を補完する地域力が今以上に強く求められています。

そこで当市におきましては、そうした課題に対応するため標記SOSネットワークを立ち上げました。

これは、行方不明になる可能性がある人を事前にSOSネットワーク事務局に登録し、その人たちが行方不明になった場合には、その発見と保護をさまざまな方々のご協力によって実施するものです。そのためには、一人でも多くの方のご協力で、行方不明者のご家族の方に少しでも早く安心していただくようと考えております。

この主旨をご理解いただき、標記SOSネットワークへご参加くださいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝と益々のご繁栄、ご多幸をお祈り申し上げます。

敬具

平成二十五年 九月

社会福祉法人善通寺市社会福祉協議会

会長 杉 峯 文 昭

(善通寺 高齢者と障がい(児)者等が行方不明になったときのためのSOSネットワーク事務局)

